

第3学年C組 社会科授業案

場 所 3 C 教室
授 業 者 松山 貴久

1 単元 あなたは差別をしたのか ～沖縄差別～ (人権を考える)

2 めざす子どもの姿

沖縄に米軍基地があった方がよいと考えた子どもは、「差別はやめて」と記された新聞記事を見ることで、自分たちの考えが差別になるのかと考え始める。その中で、政府の対応によって沖縄県民と対立するような構図になっていることを批判的に考えていく。そこで、大きな問題となったことをよいことであるとする子どもとかかわることで、自らの考えを問い直す。そして、現在の状況が問題解決につながると考えて議論をしようと動き出す。

3 単元の構想

(1) 社会科としての学び

本単元は、公民の導入単元となる。今まであたりまえと考えていたことを問い直す必要を感じ、友達と学びを深め合おうとすることをねらう。

前単元「米軍基地問題を考える」(総合単元)では、普天間基地の移設にかかわる問題を取り上げた。子どもは、沖縄戦で捨て石にされた沖縄の立場や、日米安全保障条約によって国内に米軍基地を置くようになった歴史的な背景をもとに現在の問題を見つめた。その中で、太平洋戦争時には、政府が沖縄を差別的に扱っていたことをとらえていった。しかし、現在では、沖縄を差別はしていないと考え、国際関係を考えて、「本当は日本には米軍基地を置きたくないが、現状では置かざるをえないのではないか」という結論に多くの子どもが達している。

普天間基地の移設は、連日のように報道されている。4月25日には、沖縄県民大会では、9万人が参加し、県内移設に対して反対の意思が示されている。この中で、基地押しつけに対して「沖縄差別やめて」との演説がされた。また、政府が徳之島への一部移設を提案したことに対して、政府と住民との対立が表面化している。この事実を通して政府の対応の悪さを指摘する報道が目立つ。また、同時にこの政府案は、子どもが前単元で結論としたものと同じ内容のものである。本単元では、子どもが自分の出した結論が差別になるのかを追究していく。その中で、第三者の意見を求めていく。そして、他の差別問題に取り組む人々の意見にふれることで、問題が大きくなり、対立の関係が表面化した今こそ、問題解決の機会であると考え、積極的に議論をしようとすることを期待したい。

(2) 学びを深め合う授業の実現

「みつめる」段階では、継続的に行ってきた新聞スクラップを出し合う。その中で、「沖縄差別をやめて」の記事を取り上げて、前単元で出した子どもの結論を振り返る。自分の結論と政府案の内容を比較することで、両方の共通点が多いことに気づく。さらに、「やむを得ないが、沖縄に米軍基地を置く」とする自らの考えを、差別であるとされていることに対して、問題意識をもつ。

「とらえる」段階では、「沖縄に基地を置く」という結論を差別だとされたことに対して批判的に考察していく。子どもは、すでにさまざまな補助や対策がされた沖縄に米軍基地をこれからも置くことが、合理的であると考えらるであろう。しかし、沖縄県の地方紙から地元の様子を読み取ることで、問題に対する意識に大きな違いがあることに気づく。さらに、制度上の問題を見いだそうと、条約や法令を調べていくが、どこに差別があるのかと問題を焦点化させていくであろう。

「かかわる」段階では、現地で取材をした記者や沖縄に在住経験のある人々、国会議員に取材をする。その中で、沖縄の現状をとらえきれない自分の姿に気づき、また、政府の対応に差別があるのではないかと考える。そこで、問題が大きくなったことはよいことだと考える子どもとかかわることで、自らの考えを問い直し、問題を解決するためには、何が問題かを明らかにして、対立を乗り越えて議論し合うことが重要であることを見いだしていく。

「つなげる」段階では、愛知沖縄県人会の人々と、「沖縄差別」について話し合う。その中で、自分の差別に対する考えをはっきりと伝え、何が問題であるのかを明らかにしようと、問題解決へ向けて議論を続けようとする。

| 過程 | はたらきかけ | □ 思い・考え | ■ 共有化された問題意識 | □ 学びの深め合い | 教科の学び |
|------|--|---|---------------------------|--------------------------|--|
| みつめる | ① 現代社会に実際におきている差別問題を調査する。その中で、現代にある差別問題に関心をもつ。 | 現在の僕らには、大きな差別はない | AIDS患者には偏見の目が向けられる | 世界では人種差別が現在も続いている | ☆「わかっていること」や「わかっていないこと」を整理する ・追究で得られた事実を吟味して、問題を焦点化していく。 |
| とらえ | ② 新聞記事「差別はやめて」(琉球新報)から、自分の結論が差別と言われていることに対して問題意識をもつ。 | ① 身近にも差別がありそうだ 1~2時 | | | ☆ 事実に基づいて自分の考えを述べる ・何をもとに考えを述べているのかを意識して自他の考えを吟味する。 |
| え | ③ 琉球新報と自分の新聞スクラップを比較しながら、沖縄差別といわれていることが何なのかを明らかにする中で、沖縄と自分の問題のとらえ方に大きな違いがあることに気づく。 | 海外では現在も人身売買が行われている | 昔からの慣習が差別になっている | どこまでが差別と言えるのかわからない | ☆ 事実に基づいて自分の考えを述べる ・何をもとに考えを述べているのかを意識して自他の考えを吟味する。 |
| か | ④ 沖縄の県内移設に対しての差別を見つけ出そうとそのしくみを調べる。その中で、制度に残らない差別に気づいていく。 | ② 差別によって、生活に不利益を受けている人がいる | | | ☆ 事実に基づいて自分の考えを述べる ・何をもとに考えを述べているのかを意識して自他の考えを吟味する。 |
| わ | ⑤ 「沖縄差別」と言われていることの真相を考察しようと、新聞社や沖縄県人会、国会議員に取材をする。その中で、社会的な問題となっている今こそ、解決への契機になると自らの考えを問い直していく。 | 差別と言われてしまうと基地問題を話し合うことができない | 琉球新報には毎日米軍基地のことが紙面に載っている | 沖縄に押しつけていることは、はっきりしている | ☆「わかっていること」や「わかっていないこと」を整理する ・追究で得られた事実を吟味して、問題を焦点化していく。 |
| つ | ⑥ 沖縄の立場に立つ愛知沖縄県人会連合の方々と語り合うことで、沖縄差別のない、解決法を追究しようとする。 | 沖縄の人と私たちの見方は大きく違っている | 他の差別問題との共通点を見つけることができた | 「差別はやめて」は自分に言われているように感じる | ☆ 他の考えを解釈する ・さまざまな立場の人々の意見をかみ砕き、どこが合意できて、どこができないのかを論点を明らかにしながら検討する。 |
| な | | 大田さんや沖縄の人のような真剣さはわたしたちにはない | | | |
| | | ④ だれがどんな差別をしているのだろう 7~8時 | | | |
| | | 日米は友好関係にあるので、基地問題には改善の余地がある | 沖縄に置くことは法で決まっていな。合理的だからだ | 民主党がマニフェストにしたから問題になったのだ | |
| | | 制度や教育の中には、もう差別は見あたらない | | | |
| | | ⑤ 沖縄差別は、本当に差別なのだろうか 9~12時 (本時12時) | | | |
| | | 本州の人たちは無関心。沖縄に置くしかないと片付けている | この問題は差別ではない。意見が食い違っているだけだ | 沖縄の人を苦しめているのは、わたしたちだ | |
| | | 結局は、沖縄に基地を置くことが差別になる | 問題が大きくなったことはよいことだったと思う | 本州でも沖縄のことを考えるようになっている | |
| | | 今、話し合わなければ、本当に差別になる | | | |
| | | ⑥ 沖縄の人と語り合いたい 13時~16時 | | | |
| | | わたしは、差別したつもりはない | 今、対立しても冷静に本音で話したい | わたしの考えはどう受け止められるか | |
| | | 日本中を巻き込むことで、今は意見が対立するかもしれない。でも今、問題になっていることが、解決への足がかりになる | | | |

5 本時の学習 (12/16)

(1) 学びを深める子どもの姿

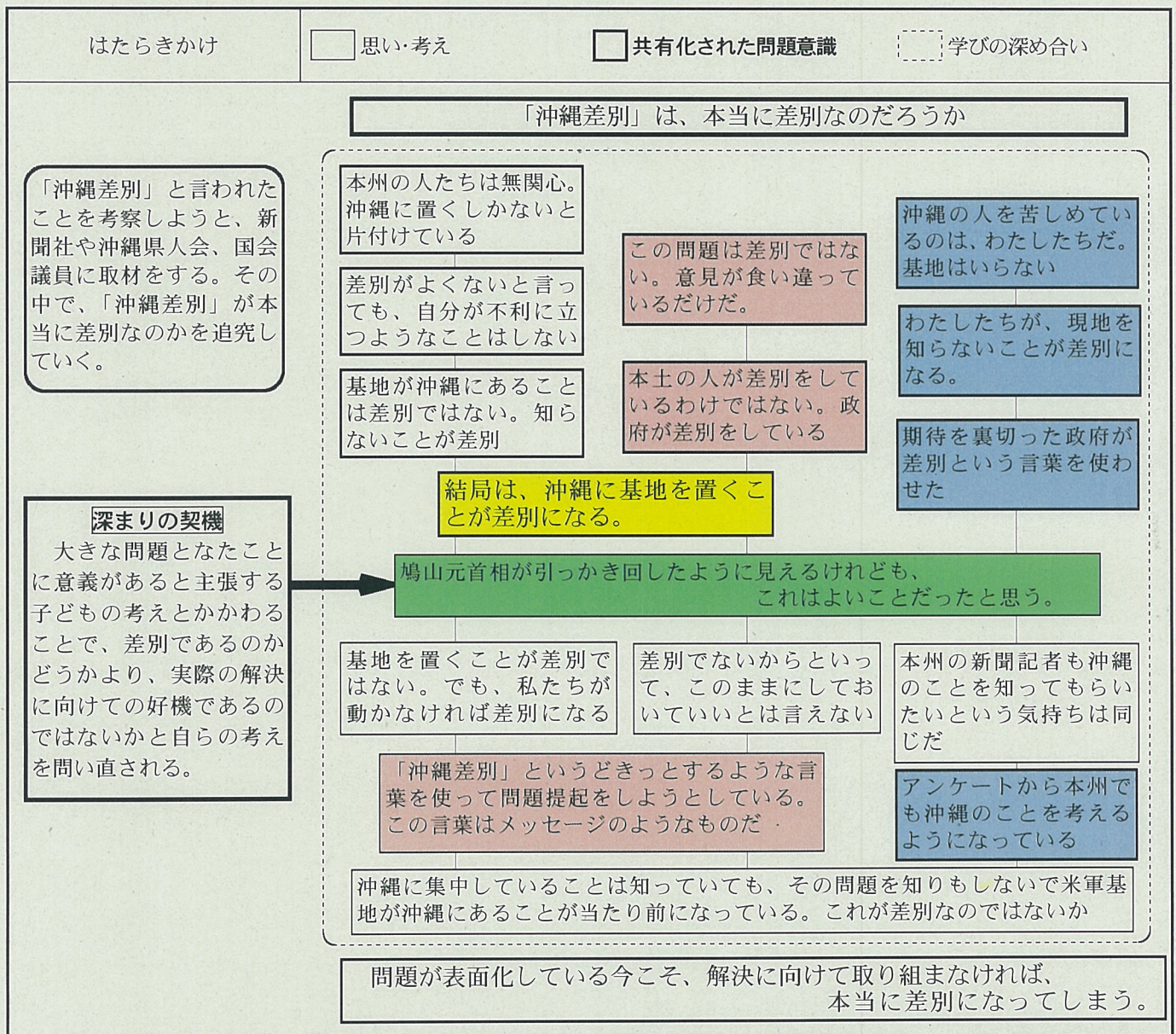
自分を含める本州の人たちが差別をしていると考える子どもは、沖縄の人々の意見をもとに沖縄県に基地を置くことが差別であると主張するであろう。一方で、「沖縄差別」を批判的に考察する。その中で、大きな問題となったことに意義を見いだす子どもとかかわることで、大きな問題となっている現在が解決に向かう好機であると自らの考えを問い直していく。

(2) 構想

NTは、米軍基地を沖縄に置くことは差別でないと考えて、追究をしてきた。新聞やテレビ報道では、基地県内移設に反対する人々の声を取り上げられる中で、沖縄に基地がある必要性を調べている。しかし、差別ではないとする考えを肯定する十分な根拠が得られていない。

本時では、「沖縄差別」が本当に差別なのか、なにが「沖縄差別」なのかを話し合う。商業誌の沖縄支局に駐在経験をもつ記者に取材をしたFSやTSは、沖縄の現状を本州の人が知ろうとしないことを挙げる。また、沖縄県人会に取材をしたKAは、自分がその差別にかかわっているのだと主張する。また、沖縄の人との交流会に参加したHNやSYは、沖縄に基地を置くこと自体が差別になると主張する。それに対して、NTやINは、根拠が不十分な中で、「差別」と言われることに対して反論しようとするであろう。そこで、大きな問題となたことに意義があると主張するKMとかかわることで、問題が表面化している現在が、解決に向けての好機であると自らの考えを問い直していく。

(3) 展開 (50分)



座席表

| | | | | | |
|--|---|--|--|---|--|
| <p>沖縄のことを本土の人が知らないことが差別。ぼくは、慰霊の日があることも知らなかった。</p> | <p>見方が違うだけで、本土の人たちは差別などしていない。このことを沖縄の人にわかってもらいたい。</p> | <p>沖縄のことを自分のこととして考えていない。沖縄の人は孤独を感じている。自分たちのやっていることを広めたい。</p> | <p>沖縄に基地を置くことが差別になる。沖縄に基地があるのは、沖縄の人のためではなく、沖縄以外の人のためだ。</p> | <p>米兵＝悪い人というのも差別だ。沖縄の人たちももっとアメリカ兵を認めてあげるべきだ。</p> | <p>本土の人は基地問題に興味を示していない。私も授業でやっていなければ、しらなかったでおわっていた。</p> |
| <p>「沖縄に置くしかない」と最後には片付けている。本土の人が差別ではないと言っても、沖縄の人は差別だと思っている。</p> | <p>自衛隊の小牧基地でも反対運動はあるが、全然規模がちがう。沖縄の人たちは十分がんばっている。</p> | <p>毎日新聞の人も、沖縄のことを知ってもらいたいという気持ちは同じだった。毎日新聞は全国紙だからどうしても沖縄の記事が少なくなる。</p> | <p>60数年も苦しい思いをして、本土の人たちから差別をされているように感じている。でも差別はしていない。</p> | <p>大泉さんのように危険な目に遭っている人から見れば、「沖縄にあればいい」と考えることが差別になる。</p> | <p>「私もう差別をしている」どうせ沖縄とか関係ないと思うところに差別がある。現地を知ることが差別をなくすことになる。</p> |
| <p>沖縄に基地を置くことが差別になる。本当に基地が必要なら自分たちの近くに置けばいい。沖縄の民意を無視している。</p> | <p>本土の人の気持ちの問題。軍用地売買をしている人も、平等に基地を置くことを願っている。</p> | <p>米軍基地をとりあえず沖縄に置くという考えがある。沖縄の人の意見を無視しているのもこの考えが原因だ。</p> | <p>基地問題は、差別ではない。「基地断固反対」を訴えるためのスローガンだ。</p> | <p>本土の人が差別をしているのではない。押しつけ＝差別だから、政府の人が差別をしているのだ。</p> | <p>基地を置くことが差別ではない。わかろうとしないことが差別なんだ。けれど、私たちが動かないと結局差別になる。</p> |
| <p>いろいろな問題が積み重なってもととあったところに落ち着いた。差別は今はない。</p> | <p>本土の人たちは知らないうちに差別をしている。差別をしていないと思っていたのに、納得できてしまった。</p> | <p>住民の移設するという期待を裏切った政府が、「差別」という単語を使わせた。ぼくたちが事実を知らないことも差別になる。</p> | <p>実際に私は、沖縄に行ったことがないのに、沖縄にあればいいと思っていた。わたしは差別をしてしまったのではないか。</p> | <p>県民の声が政府に届かないことが差別。「沖縄だから仕方ない」といった変な意味で沖縄に頼っている。</p> | <p>差別がよくないと言っているでも自分が不利になれば、弱い立場の方に押しつける。結局差別は無くならない。</p> |
| <p>基地が沖縄にあることはしょうがない。しかしそのままにしておくことは差別になる。</p> | <p>本土の人の無関心が差別になる。本土の人は気づかないが、沖縄の人から見ると差別になる。</p> | <p>この問題は差別ではない。政府は差別したつもりはないが、差別だと言われる。意見が食い違っているだけだ。</p> | <p>何年も基地を置いておくことが差別になるのか。沖縄の人の意見を無視していることが差別になるのかわからない。</p> | <p>渡久地さんの話を聞いていると、政府だけでなく、本州の人たちも差別をしていると思っていることがわかった。</p> | <p>沖縄の人が差別と言っていることは、本州の人たちが苦しみをわかっていないからだ。</p> |
| <p>アメリカが悪い。日本政府の米国依存がなくなれば、この差別はなくなる。特に沖縄から遠い地域の人には感心がない。</p> | <p>アメリカ人がすべて基地が必要だとは思っていない。なのに日本が基地を置こうとするのは沖縄に対する差別なのか。</p> | <p>沖縄以外の基地は、いらぬという意見を聞いてもらっている。沖縄が民主主義から切り離されているようだ。</p> | <p>本土の人は無意識に差別している。「大変だな」と思っても「しょうがないね」と思っている。</p> | <p>日本政府もアメリカ政府も米軍基地は危険だと認めているのに沖縄に押しつけている。これが差別だ。</p> | <p>沖縄にあればいいという態度が差別になる。しかし、鳩山元首相が引っかき回したようにみえるが、これはよいことだったと思う。</p> |
| <p>沖縄の人を苦しめてきたのは、わたしたちだ。基地は、日本にはいらぬ。</p> | <p>「不幸なことに」「すでにできている」という表現が気になる。しかし、少しずつだが、資料のように沖縄のことを考えるようになっていく。</p> | <p>大野さん(共同通信社)が言っていた不平等の裏には差別があるという言葉が気になる。</p> | <p>琉球処分で琉球王国を消した。沖縄が地上戦に巻き込まれた。この2つが差別になる。</p> | <p>沖縄の人は政府に差別されていると言っている。しかし、補助金などがあるのでよいとしている本土の人も差別をしている。</p> | |